

## 令和7年度関東支部総会及び第36回加山記念講演会開催のお知らせ

公益社団法人日本鑄造工学会関東支部 支部長 岡根利光

令和7年度関東支部総会及び第36回加山記念講演会を下記により開催いたします。また、併せて会員間の交流を図るべく懇親会を企画いたしました。多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日 時 令和7年4月18日(金) 14:30～17:00  
会 場 早稲田大学西早稲田キャンパス及び ZOOM のハイブリッド形式  
※参加申し込みされた方には、メールにてアクセス方法を連絡します  
14:30～15:20 令和7年度 (社)日本鑄造工学会 関東支部 総会  
・ 令和6年度事業報告  
・ 令和7年度事業計画(案)  
・ その他  
15:30～17:00 第36回加山記念講演会  
「鑄物・ダイカストに魅せられてーそれはバラ状黒鉛鑄鉄から始まったー」

講師 西 直美 氏

長野県の四方を山に囲まれた町を故郷とする私は、手を伸ばせば届きそうな星々に憧れて「天文少年」として育った。大学は金属材料工学科に入学したものの、化学は好きではなく金属にはあまり興味がなかった。しかし、2年生の金属基礎実験で鑄鉄の組織観察をした時に、覗いた顕微鏡には「ばら状黒鉛(B型黒鉛)」がまるで「ばら星雲」のように見え、小宇宙を発見したような気がした。それ以来、金属組織に興味を持ち、当時学科には鑄造の研究室はなかったが熱処理の教授にお願いして、無理矢理に鑄造の研究を始めた。卒業研究ではZn-Sb二元共晶合金の一方凝固、修士課程ではAl-Sb希薄共晶合金、Al-Mg<sub>2</sub>Si擬二元共晶合金の一方凝固を研究した。博士課程では、アルミニウム合金鑄塊の表面組織に関する研究を行った。鑄鉄に始まった好奇心は次第にアルミニウム合金へとシフトし、就職もアルミニウム合金ダイカストメーカーを選んだ。以降、ダイカスト用アルミニウム合金の開発、ダイカストの圧力伝達解析、ダイカストの異常組織に関する研究を行い、(一社)日本ダイカスト協会に転籍し、技術系の委員会で様々な研究を行った。定年と同時にものつくり大学に移り、教育・研究を行ってきた。私のモットーは、「頼まれた仕事は断るな！」で、物理的に困難な場合を除いて積極的に取り組んできた。その結果、多くの方々のご支援をいただき、今日に至っている。講演では、私が経験してきた様々な研究内容を紹介する。

17:30～19:30 懇親会

<参加費>

講演会 : 日本鑄造工学会会員及び学生:無料  
非会員: 3,000 円

懇親会 : 日本鑄造工学会会員及び学生:3,000 円  
(参加費は、当日会場受付で申し受けます)

<申込先>

下記 関東支部総会及び第36回加山記念講演会申込書で申し込みください。

株式会社プロテリアル 素材研究所

担当;山根 英也

〒321-4367 栃木県真岡市鬼怒ヶ丘 11 番地

E-mail : [hideya.yamane.ex@proterial.com](mailto:hideya.yamane.ex@proterial.com)

<申込期限>

令和7年4月4日(金) (上記申込期限以降は当日会場で直接受け付けいたします)